

ふれあいビタミンあいのまち うみ・そら・みどりと共に生きる

広報

まきのはら



6/5 日号

2006年(平成18年) vol.14



特集 ● みんなが主役 想いが実現するまちを目指して
「協働」でまちづくりを進めよう

Photo: 静波西保育園 新茶の会



「フォーラムまきのはら」とは

「市民力」を生かして協働のまちづくりを進めようと、市ではさまざまな課題解決に向けて利害関係者などで話し合い、また市民・行政などが協働のまちづくりに向けて話し合う「フォーラムまきのはら」を今年5月に立ち上げました。

「フォーラムまきのはら」では、公募で集まった皆さん（参加者）が七つのテーマに分かれて検討グループを作り、それぞれの検討課題について話し合いの場を設けたり、行政の担当者と意見を交わすなどして、課題の解決に向けてさまざまな活動を行っています（検討グループについては5頁参照）。

また、参加者以外の方でも、電話やファックス、Eメールなどで意見を寄せていただければ、各グループでの検討課題となります。市民の皆さんからのご意見が、牧之原市のまちづくりに生かされます（ご意見の投稿については5頁参照）。

全体的な活動

●タウンミーティング

検討課題ごとに参加者や市民、市長が、直接意見交換する場です。

●プレゼンテーション

検討課題ごとに進捗よく状況を報告（中間報告）する場です。

●シンポジウム

講演会を開催するなど、参加者や市民の皆さんの勉強の場です。

検討された課題の中で市政に活用できるものは、プレゼンテーションの際に市へ答申され、今後のまちづくりに反映されていきます。

市民一人ひとりの力が牧之原の力になる

「フォーラムまきのはら」

みんなが主役

想いが実現するまちを目指して

「協働」

でまちづくりを進めよう

今日の日本社会は、価値観の多様化や少子高齢化などによって、大きな転換期を迎えています。

このような社会情勢の中、国や県、市町村への住民ニーズはこれまで以上に多様化していますが、限られた財源・人材ではすべてに応えていくことは大変難しい状況となっています。

牧之原市も例外ではありません。厳しい現状を乗り越えるため、ここで求められるのが「協働」なのです。

「協働」とは

「協働」とは、一つの目的を達成するために、それぞれの役割と責任を自覚し、対等の関係で協力しながら働くことをいい、「協働のまちづくり」とは、市民・企業・行政それぞれが持つ技術や能力などを出し合い、互いに協力してまちづくりを進めることをいいます。

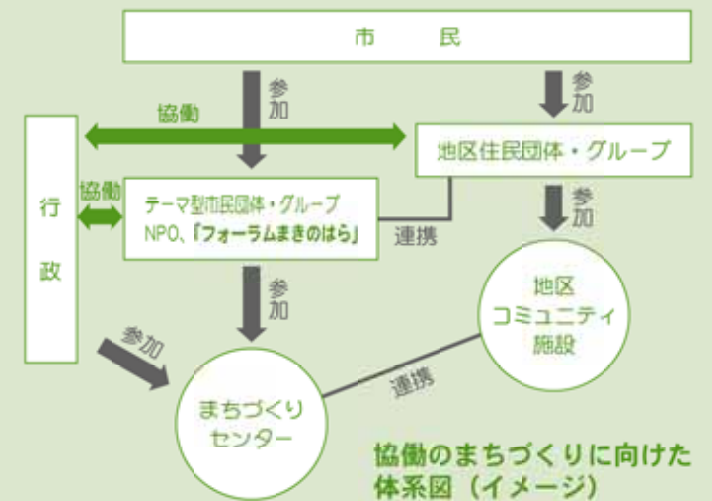
自分の住むまちのために住民が力を出し合う「市民力」が、今日のまちづくりに求められています。

牧之原市が考える「協働のまちづくり」

牧之原市が考える「協働のまちづくり」の方針のひとつに「みんなが主役 想いが実現するまち」があります。

そしてその中の重要なポイントの一つとして「市民の力を生かす仕組みづくり」を位置づけています。

その「仕組みづくり」が「フォーラムまきのはら」です。



「フォーラムまきのほら」 検討グループ

- 情報** 牧之原市の持つ個性・魅力を発信できる仕組みづくり、行政情報のより積極的な公開や市民にとってわかりやすい情報の提供に関することなどについて話し合い、活動していく場
- 自治体経営** 自治組織の役割、市の行政運営方法、施設の活用など、自治に関する基本的な制度などを整備し、効率的で開かれた市役所について話し合い、活動していく場
- 子育て** 子育て中の親などに対する市民の支え合いや、子育ての楽しさを実感できる環境づくりに向けて話し合い、活動していく場
- 健康福祉** 市民の心身の健康保持・増進のための取り組み、高齢者が持っている豊かな知識などを生かす就業・起業の仕組みづくり、障害者の自立生活の実現、誰もが安全で気軽に移動できる交通環境整備について話し合い、活動していく場
- 生涯学習** 子どもの成長を支援していくネットワーク、年齢・性別を問わず自分らしさを発揮できる仕組みづくり、スポーツを通じて市民相互の交流、郷土の自然を再発見し未来に残す活動について話し合い、活動していく場
- 環境** ごみの排出抑制、リサイクル、良好な景観づくり、市民・事業者・行政の環境問題への取り組みなどについて話し合い、活動していく場
- まちの活性化** 牧之原市の持つ個性・魅力の発信、まちを支える産業の担い手、農作物のブランド化や、中小企業・商店街の活動について話し合い、活動していく場

●これらの検討内容以外のことでも、問題やご意見などがありましたら解決に向けて話し合っています。「子どもの安全」や「地域防災」などについてもご意見をどしどしお寄せください。

参加者募集・ご意見の投稿

「フォーラムまきのほら」への参加者を随時募集しています。
 電話やファックス、Eメール、または牧之原市ホームページの申し込み専用フォームから応募できます。なお、申し込みの際は参加したい検討グループをお申し出ください。
 また、ご意見のみの場合も、同じ電話・ファックス番号、Eメールアドレスへお寄せください。
 ＊ご意見のみの場合、フォームは利用できません。
 ＊市内在住・在勤・在学の方であれば、どなたでもご応募いただけます。
 ＊会員への報酬・交通費の支給はありません。
 ●フォーラムまきのほら事務局（市役所秘書政策課）
 ☎ (23) 0043 ☎ (23) 0059 Eメールアドレス:haibara5f@city.makinohara.shizuoka.jp
 牧之原市ホームページ: <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>
 ＊申し込み専用フォームは、トップページ内の「フォーラムまきのほら」をクリック。

課題検討イメージ

例えば…

「たばこの煙をなんとかしたい」という課題解決に向けた取り組み



たばこを吸う人、吸わない人、たばこを販売する人、医師や保健師などの専門家、学校の先生、市職員など、利害関係者が集まって「私はこう思う」「私はこう考える」といった意見を出し合います。
 電話やファックス、Eメールで意見を寄せてもOK



寄せられた意見を基に、検討グループ内で徹底的に議論します。



議論を重ねた結果、さまざまな方法（手段）で解決します。

大江・片浜

おおえ かたはま

毎月5日号では、市内各地区の名所や旧跡、見所などを紹介しています。

旧相良町の住民は旧榛原町の地域を、旧榛原町の住民は旧相良町の地域を知り、牧之原市民が融合して、この郷土を「わがふるさと」と感じられるようになったら素敵ですね。

第5回は、「大江・片浜」地区を紹介します。



大鐘家では、5月下旬から7月中旬まであじさい祭りが開催され12,000本のあじさいが咲き誇ります

坂井平田港

漁業の盛んなこの地には、坂井平田港があり、市の特産品の一つであるシラスが水揚げされます。

シラスは1月15日から3月20日までの禁漁期を除き一年を通して水揚げされますが、水温の上がるこれからの時期、7月から8月にかけて最盛期を迎えます。

国指定重要文化財「大鐘家住宅」

柴田勝家の家臣で越前九阿城の城内家老・大鐘藤八郎貞綱が、慶長2年(1597年)に遠州相良に移住し、その子孫が18世紀初めに大庄屋となり、田沼街道に面した丘陵沿いの小高い丘に風格ある建物を構えました。それが現在の大鐘家です。

大鐘家は主屋を中心として、長屋門、納屋、土蔵、離れなど数棟を配していますが、このうち、主屋と長屋門は国の重要文化財として昭和48年に指定を受けました。

主屋は、その様式や手法から見て18世紀初めのものだと思われ、民家建築としては県を代表する最古の建築物です。長屋門の棟札には「安永10年2月、大磯村」と墨書が見られました。

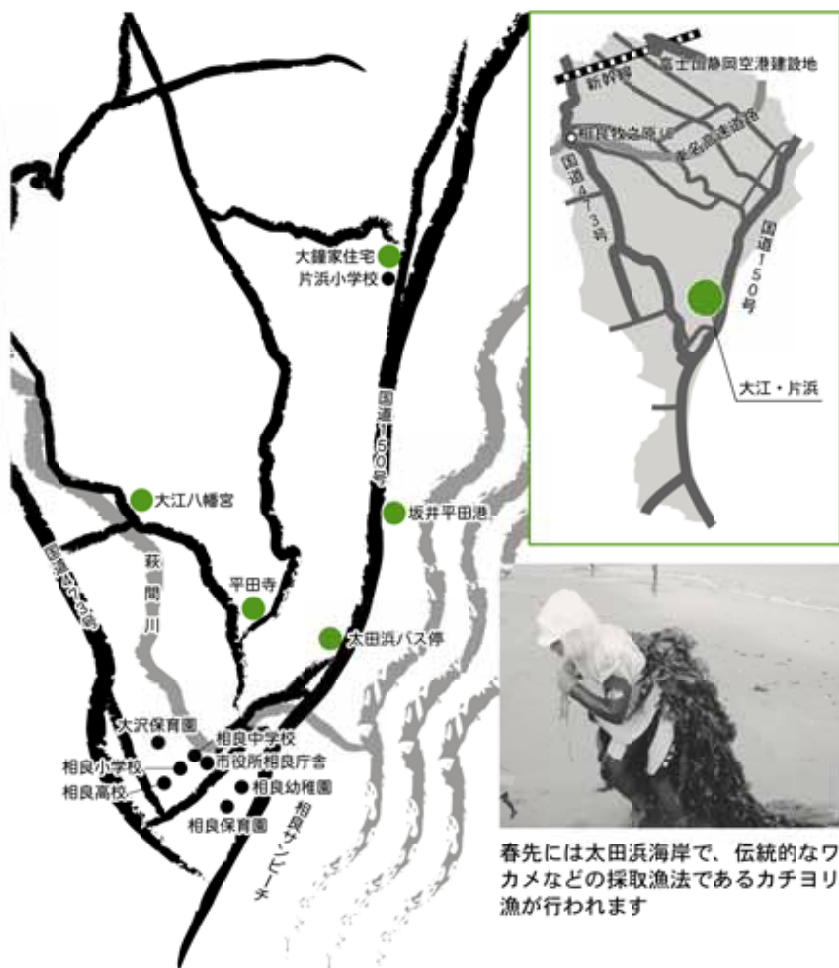


水温が上昇するこれからの季節にシラスの最盛期を迎えます

地名の由来は？

【大江】古代、大きな入り江があったことの名残の地名。

【片浜】地形で、片側が駿河湾に面している釘ヶ浦と浜地続きになっていることに由来する地名。



春先には太田浜海岸で、伝統的なワカメなどの採取漁法であるカチヨリ漁が行われます



毎年8月に行われている大江八幡宮の御船神事は、国の無形民俗文化財に指定されています



平田寺には、国宝のほか鎌倉時代から江戸時代まで47点の貴重な文書が所蔵されており、これは県の文化財に指定されています

【国宝書籍「聖武天皇勅書」(平田寺所有)
この勅書は今から1200年以上も前のもので、県下の国宝のうち最も古い文化財です。
仏教の興隆に非常に尽くした聖武天皇は、東大寺をはじめとする諸国の国分寺、国分尼寺の建立や大仏の鑄造などを行い、奈良を中心とした十二大寺に各聖地百町や布、稲などを寄進して、天下太平と万民和楽を祈願しました。勅書とは天皇の意志を記した文書のことです。当時の勅書で現存するものは平田寺が所有するもののみで、昭和27年には国宝に指定されました。
勅の大字は天皇の筆跡で、天皇の印は3段10行・計30捺印されています。



国宝「聖武天皇勅書」は、通常一般公開は行われていませんが、平成14年に奈良国立博物館で開催された特別展「大仏開眼1250年 東大寺のすべて」で展示されました

勅の字を除いた総字数は331字、行数は26行になります。
この勅書が十二大寺のうち、どの寺に発せられたものなのかは巻首の部分が欠けているため不明で、どのような理由で平田寺に伝わったのかということもいまだに解明されていません。

まらかど写真館

太田浜バス停付近 (昭和38年ころ)



【写真上】当時は道幅が狭く、未舗装の道路であったため車が通るたびに砂じんが一面は真っ白になっていました。
【写真下】昭和40年には舗装工事が終わり、2車線道路に生まれ変わりました。

新設のヘリポート使い訓練 急患者の搬送に対応

『榛原総合病院 患者搬送訓練』



実践さながらの訓練が行われました

今年3月に完了した近代化増改築工事で新設された榛原総合病院南館の屋上ヘリポートを使った初の患者搬送訓練が、5月15日に同病院で行われました。

同病院、吉田榛原消防署、県消防防災航空隊の合同で行われたこの訓練は、吉田町の大井川清流緑地で傷病者が発生。県防災ヘリが患者を収容し、同病院へ搬送するという想定で行われました。

訓練では、情報の伝達やヘリの離着陸確認、患者の搬送・受け渡しなどが実践的に行われ、災害時や急患者発生時に迅速な対応ができるよう、ヘリを使った患者の搬送体制が確認されました。

緑を大切にしよう 寄贈のツツジを園児らが植栽

『中部電力島田営業所 市へツツジを寄贈』



苗木を植栽する園児ら

中部電力から市へ寄贈されたヒトラツツジの苗木50本の植栽作業が、5月12日に大沢地内で行われ、地元の保育園児らが植栽作業を行いました。

この苗木は、地球温暖化防止や緑豊かな地域づくりを進めてもらうと、同社が進める取り組みの一環として贈られたものです。

植樹は市道天の川大江線の道路脇に整備されている花壇で行われ、同社島田営業所の鈴木勝弘所長が「みんなで緑を大切にしましょう」と地元の大沢保育園の年長児らへ苗木を手渡し、園児はスコップ片手に苗木の植え込みに汗を流しました。

働くことの大切さを感じ 社会人のマナー学んで

『榛原中学校 職業体験学習』



丁寧にアイロンがけをする生徒

榛原中学校では総合学習の一環として、生徒たちに働くことの大切さを感じてもらい、社会人としてのマナーを学んでもらおうと、5月18日と19日に2年生225人を対象とした職業体験学習を実施しました。

体験学習は、消防署や保育園、飲食店、ガソリンスタンドなどで行われ、このうちクリーニングのメイン（静波・門田俊夫社長）では、参加した男子生徒3人が店員から手ほどきを受けながら、洗濯やアイロンがけなどの仕上げ、包装などの実務を体験しました。

参加した生徒は「仕事は大変だけどやりがいを感じました」と話し、後日、学習の成果をまとめたものを、同店へお礼として贈る予定です。

航空機機体整備工場 夏休み親子見学会 参加募集

平成21年春の開港を控え、未来を担う市内の小・中学生に航空機や富士山静岡空港への関心を高めてもらうため、「航空機機体整備工場 夏休み親子見学会」への参加者を募集します。定員がありますので、お早めにお申し込みください。

なお、お申し込みは個人のみとし、団体でのお申し込みはご遠慮させていただきます。

- 実施日 7月27日(木)
- 出発時間 ▼相良庁舎=午前6時30分
▼榛原庁舎=午前7時
- 行き先 羽田空港、全日空メンテナンスセンター
- 対象 市内の小学4年生～中学生と保護者
*小学生は保護者同伴が条件
中学生は一人から参加可能
- 定員 40人(定員になり次第締め切り)
*保護者1人に児童5人まで申込可能
- 参加費 無料(昼食代などは個人負担)
- 申込期間 6月12日(月)～6月22日(木)
- 申込先・問い合わせ 空港対策課 ☎(23)0046



写真上/整備工場内の様子



写真左/見学会では航空機を間近で見学できます

topic 空港見学施設の紹介

島田市湯日にある「富士山静岡空港ビジターセンター」では、空港の概要や工事の状況、環境対策への取り組みなどを説明しています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

- 開館日 年末年始を除く毎日
*土・日・祝日も開館
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 所在地 島田市湯日3801
- 問い合わせ ☎/FAX0547(38)5788



ビオトープの 植物たち



オオバギボウシ



[科名] ユリ科

-----特徴-----

- 山地の草原や明るい林に自生する多年草。
- 葉は根ぎわに集まり長い葉柄を持つ葉は30cm以上になります。白い花を付け、春先の芽生えや若い葉はウルイと呼ばれています。
- 開花期 6月下旬～8月上旬

生活情報 あれこれ



募集

「文芸まきのほら」 創刊号 投稿原稿

市内の文芸普及と文化向上を図るため、多くの方からの作品を募集します。皆さんの力作をお待ちしています。

●投稿募集内容 創作、郷土研究、随筆、手記、詩、俳句、短歌、川柳など

●申込方法 相良公民館または榛原文化センターの窓口へ直接、提出してください。

相良公民館では郵送も受け付けます。

●締切 9月30日(木)

*詳細は、社会教育課(相良庁舎3階)や相良公民館、榛原文化センターにある「作品募集要項」をご覧ください。

●申込先・問い合わせ ▼相良公民館 ☎42110524 須々木854110 ☎(52)1021 ▼社会教育課生涯学習係 ☎(53)2647

地球を元気にする家族

環境課では、7月から9月にかけて「地球を元気にする

家族」を実施します。皆さんの参加をお待ちしています。

●実施内容 次の2点について3カ月間実施し、地球温暖化の防止を市民で進めていくものです。①電気やガス、水道の「検針票」と、ガソリンや灯油の「給油票」をチャレンジ冊子に貼る。②可燃ごみの重さを「ごみカレンダー」表へ記入する。

説明会を開催します

●日時 6月22日(木) 午後7時30分

●会場 市役所相良庁舎

●応募方法 電話かFAXでお申し込みください。

●応募締切 6月16日(金)

●申込先・問い合わせ 環境課 環境係 ☎(53)2609 図(52)3772

「運転サービス」利用者

牧之原市運転サービスグループ「どこでもカー」では、一人での外出が困難な障害のある方が気軽にかけられるよう「運転サービス」を実施しています。

●利用者条件 ▼市内在住の方 ▼外出が一人では困難な重度障害者 ▼車椅子を使用しない

薬物依存相談

薬物依存に関する相談を実施します。自分や家族だけで悩まずに、気軽にご相談ください。

●日時 毎月第1月曜日 午前9時～正午(予約制)

●会場 県精神保健福祉センター(静岡総合庁舎別館3階)

●内容 経験豊富な専門相談員が相談に応じます。

●申込先・問い合わせ 県精神保健福祉センター(県ごとも家庭相談センター内) ☎054(286)9245

保健・子育て

児童手当の対象年齢が拡大しました

児童手当法が改正され、児童手当の支給対象年齢が、小学3年生から小学6年生まで拡大しました。

9月30日までに申請した小学4年生から小学6年生までの児童については、特例的に4月にさかのぼって支給されます。

なお、所得制限により、受給対象から外れる場合がありますのでご承知ください。

●新たに対象となるご家庭には、申請手続きのお知らせを郵送しました。持ち物など、内容をよくご確認の上、申請手続きをお願いします。

●問い合わせ 子育て支援課子育て支援係 ☎(23)0073

児童手当6月定時払いと現況届出の確認を

2月分から5月分までの児童手当を6月9日に指定口座へ振り込みます。

児童手当の現況届の通知が

お知らせ

クールビズにご協力を

地球温暖化防止対策のため、市役所も協力事業所として「チームマイナス6%」に登録

●問い合わせ みんなでウォーク 大石 ☎(22)4015、田伏 ☎(22)1945

「みんなでウォーク」に参加しませんか

自分の健康作りのため、ラジオ体操の後、1時間ほどみんなで歩きます。

●日時 毎月第2、4土曜日 午前6時30分

●集合場所 原則として、紙江小学校

●会費 500円(年間保険料として)

●問い合わせ みんなでウォーク 大石 ☎(22)4015、田伏 ☎(22)1945

資源回収の日程

資源回収が次の日程で行われます。皆さんのご協力をお願いします。

期日	実施団体
6月11日(金)	細江小学校PTA
18日(金)	川崎小学校PTA
25日(金)	地頭方幼稚園PTA
7月1日(木)	すずき幼稚園PTA
2日(金)	相良幼稚園PTA
23日(日)	牧之原中学校PTA
30日(日)	相良中学校PTA 榛原中学校PTA

●問い合わせ 環境課環境係 ☎(53)2609

ブックスタート

子育て支援課から届きますので、内容を確認のうえ、指定の時間と会場で手続きをお願いします。

●持ち物 現況届出通知書の入った封筒と印鑑、保護者の健康保険証(その写し)

*1月1日に牧之原市に住所がなかった方は児童手当用所得証明書(1月1日に住所のあった市町村で発行してもらってください)

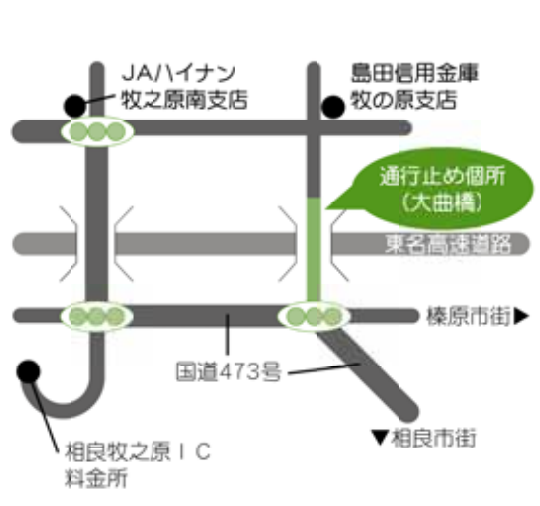
●問い合わせ 子育て支援課子育て支援係 ☎(23)0073

「車両通行止め」のお知らせ

静岡県大井川広域水道企業団では、東名高速道路に架かる大曲橋の地下部に送水管の埋設工事を行っているため、大曲橋(相良牧之原IC付近)の陸橋が通行止めとなっています。

案内標識にしたがって迂回をお願いします。工事期間中は、通行に不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

通行止め 12月15日まで(予定)



●問い合わせ 県大井川広域水道企業団管理課 ☎0547(32)0139

もう一度働きたい方の再就職をバックアップ

登録を行うことで、再就職に役立つ情報が得られます。

●対象者 育児、介護などの理由で退職し、再就職を希望する方(ただし、退職前に雇用保険被保険者であった方)

●内容 ▼「再就職準備セミナー」への参加 ▼「再就職に役立つ情報誌」の提供など

●登録料 無料(託児あり)

●登録有効期間 4年間

●問い合わせ 勲21世紀職業財団静岡事務所 ☎054(205)2050

応援します! 仕事と家庭の両立

ベビシッターや民間ホームヘルパー、家政婦(夫)などの育児や介護、家事のサービスに関する情報を提供します。

●情報提供日時 月々金曜日(祝日、年末年始を除く)

●午前9時30分～午後4時30分

●連絡先 フレィフレー・テレフォン静岡 ☎054(205)2020

●情報提供料 無料

●問い合わせ 勲21世紀職業財団静岡事務所 ☎054(205)2050

薬物依存相談

薬物依存に関する相談を実施します。自分や家族だけで悩まずに、気軽にご相談ください。

●日時 毎月第1月曜日 午前9時～正午(予約制)

●会場 県精神保健福祉センター(静岡総合庁舎別館3階)

●内容 経験豊富な専門相談員が相談に応じます。

●申込先・問い合わせ 県精神保健福祉センター(県ごとも家庭相談センター内) ☎054(286)9245

保健・子育て

児童手当の対象年齢が拡大しました

児童手当法が改正され、児童手当の支給対象年齢が、小学3年生から小学6年生まで拡大しました。

9月30日までに申請した小学4年生から小学6年生までの児童については、特例的に4月にさかのぼって支給されます。

なお、所得制限により、受給対象から外れる場合がありますのでご承知ください。

●新たに対象となるご家庭には、申請手続きのお知らせを郵送しました。持ち物など、内容をよくご確認の上、申請手続きをお願いします。

●問い合わせ 子育て支援課子育て支援係 ☎(23)0073

児童手当6月定時払いと現況届出の確認を

2月分から5月分までの児童手当を6月9日に指定口座へ振り込みます。

児童手当の現況届の通知が

お知らせ

クールビズにご協力を

地球温暖化防止対策のため、市役所も協力事業所として「チームマイナス6%」に登録

●問い合わせ みんなでウォーク 大石 ☎(22)4015、田伏 ☎(22)1945

「みんなでウォーク」に参加しませんか

自分の健康作りのため、ラジオ体操の後、1時間ほどみんなで歩きます。

●日時 毎月第2、4土曜日 午前6時30分

●集合場所 原則として、紙江小学校

●会費 500円(年間保険料として)

●問い合わせ みんなでウォーク 大石 ☎(22)4015、田伏 ☎(22)1945

資源回収の日程

資源回収が次の日程で行われます。皆さんのご協力をお願いします。

期日	実施団体
6月11日(金)	細江小学校PTA
18日(金)	川崎小学校PTA
25日(金)	地頭方幼稚園PTA
7月1日(木)	すずき幼稚園PTA
2日(金)	相良幼稚園PTA
23日(日)	牧之原中学校PTA
30日(日)	相良中学校PTA 榛原中学校PTA

●問い合わせ 環境課環境係 ☎(53)2609

ブックスタート

子育て支援課から届きますので、内容を確認のうえ、指定の時間と会場で手続きをお願いします。

●持ち物 現況届出通知書の入った封筒と印鑑、保護者の健康保険証(その写し)

*1月1日に牧之原市に住所がなかった方は児童手当用所得証明書(1月1日に住所のあった市町村で発行してもらってください)

●問い合わせ 子育て支援課子育て支援係 ☎(23)0073

集まれ!

まきのほら

KIDS

たなか ゆうせい
田中 優成くん(1歳)



平成17年5月9日生(牧之原)

パパ 智久♥ママ 陽子
いつも元気いっぱい
我が家のわんぱく王子

やまむら りあ
山村 李緒くん(1歳)



平成17年5月25日生(細江)

パパ 学♥ママ 文子
お風呂大好き♥
これならプールも平気かな?

やぎ ゆうき
八木 悠希くん(2歳)



平成15年8月15日生(細江)

パパ 横吾♥ママ 勇子
外で遊びの大スキ! 気が向くとお手伝いしてくれます。

うえ た けんしん
植田 兼進くん(1歳)



平成16年9月1日生(豊岡)

パパ 尚史♥ママ 容子
ブー(車)とインゴ(苺)が大好き。
わが家の小さな王子さま。

くめ た しんすけ
桑田 駿佑くん(1歳)



平成16年10月17日生(細江)

パパ 武文♥ママ 祐美子
元気モリモリ、ニコニコ笑顔。
ボクはバイキンマンが大好き。

KIDS

元気なキッズ募集中。

今回の募集は
「平成14年7月6日以降」
に生まれたキッズです

お電話でお申し込みください。
申込順に掲載します。申込者多
数の場合は、掲載までお時間を
いただく場合があります。

- 申込資格
牧之原市内に住んでおり、掲載時点で3歳以下のキッズに限りです。
- 問い合わせ
☎(23)0053(情報発信課)
- 6月5日 8:15から受付



トピック pick up!

母の日のプレゼント作り 日ごろの感謝の気持ちを生け花に

母の日を控えた5月12日、相良幼稚園(寺田幸枝園長)では年長児52人が生け花のプレゼント作りを行いました。

園児たちは講師で池坊の速水洋子さん(相良)から花の生け方や茎の切り方、色の配置などの手ほどきを受けながら生け花に挑戦しました。花器は園児が自らの手でペットボトルを紙粘土で覆い、海岸で拾い集めた貝殻をあしらい作成したもので、市内産のガーベラやかすみ草など5種類の草花を彩りよく生けました。

できあがった生け花は家に持ち帰り、日ごろの感謝の気持ちを添えてお母さんにプレゼントしました。

このプレゼント作りは、生け花をすることで花の美しさや日本の文化に触れ、感性を育てることを目的として、毎年行われています。



写真上/速水さんから手ほどきを受ける園児



写真左/母の日に贈る生け花に満足げな園児